

INDEX

- 1～2面...インタビュー
- 3面.....くまモンに会いたい！
- 4面.....キャリアは十人十色
- 5～6面...モノづくりフェア関連企画
- 7面.....医療・健康
- 8面.....子育て
- 9面.....ファミリー
- 10面.....経済

活きるビジネス
パーソンのための
情報紙 - カツ -

KATSU

【発行】  日刊工業新聞社 西部支社
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1
E-mail katsu@media.nikkan.co.jp
取材や広告、配布のお問い合わせは (「KATSU カツ」発行担当) **TEL 092-271-5716**
9:30～17:30 (土・日曜、祝日を除く) 無料 転載不可

タレントの内村麻美さん。九州朝日放送（KBC）の朝の情報番組「アサデス。」で天気予報のアシスタントを務め、明るい笑顔と楽しい掛け合いで元気をお茶の間に届けている。23歳ながらキャリアは10年。画面からでは伝わってこない、積み上げてきた経験と若さが入り交じった新たな一面が見えてきた。

「アサデス。」でおなじみ 元気さだけじゃない、新たな一面



「アサデス。」の生放送お疲れさまでした。
「テレビの生放送の仕事が始めて5年目ですけど、カメラの向こうでたくさん視聴者が見ていると思うと緊張します。でも（失敗しても）持ち直すことを覚えたり、街頭インタビューで会話が弾むようになってから、なんとかやれているなって思うようになりました。共演している気象予報士の佐藤栄作さんは、第二のお父さんみたいな存在、厳しく優しく接してくれます。『さっきのローラのものまね、リハーサルの方がよかったね』とか（笑）。」
――芸能界のキャリアは10年なんですね。この世界に入ったきっかけは。
「中学校の時に同級生のお母さんがモデルをやっていて、参観日

で私を見てスカウトされたんです。興味はあったけど剣道をやってたのでどうしようかなあと思っていたんですが、東京じゃないから大丈夫だと思って始めました。最初の仕事はいきなり宮崎で島倉千代子さんとのCM撮影。びっくりすることばかりでした」
――そこからモデルの仕事が始めたのですか。
「でも高校1年生の時に1年間くらい、オーディションにまったく受からない時期がありました。アルバイトでも友達を大事にできず周囲も信じられなくなりました。その時、母と父がそばにいてくれたおかげで立ち直ることができました。高校2年生になるとCMの仕事が来るようになり、この仕事をやっているのが楽しいというスイッチが入りました」

――進路を決めたのは。
「この仕事に飯を食っていくと決意したきっかけは、公共広告機構（現ACCジャパン）の骨髄バンクのCMにメインで出たことです。保育士になりたいとも思っていて大学進学も考えたんですけど、意欲を固めないかと思うてこの仕事をするようになりました」
――順調に進んだのですか。
「実は私が通っていた高校はタレント活動が禁止だったんです。だからCMを見た人に、似てるねって言われてもそんなに私に似てるの？今度見てみるね」とか言っただけでした。でもそっくりさんどころじゃないんです。だってメインで映っているの（笑）。それで結局、校長室に両親と呼ばれらるようになりました」

――【2面につづく】

太陽光は、 九電工

バッティングに欠かせないのが、ボールの見極めであるように、太陽光発電も、屋根と光の角度の見極めが肝心。九電工は、内川選手級の確かな読みで、最も効率よく発電できるシステムをご提案します！



サンキュー オーサンキュー キューデンコ
SunQコール ☎ 0120-039-905
www.kyudenko.co.jp/taiyoko 太陽光は九電工 検索

